※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学演習	単位数	２単位	年次	３年後期
使用教科書							
副教材等	チェック＆演習　化学　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

物質に親しみ、見通しをもって学習、実験などを行い、問題解決の能力と物質を探求する心情を育てる」。化学の学習を終えて、これまでの化学の進歩がどのように生活を豊かにし、学んできた原理・法則が環境維持や循環型社会に寄与するかを考え、学びを深めてください。
授業は問題集を進める形で行います。まずは自分で問題に取り組んでください。
自学自習した部分と、授業で得た内容が分かるようにノートを作成してください。

2　学習の到達目標

化学的な見方・考え方を働かせ，化学的根拠に基づいて，化学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)理論分野に関しては問題演習を通じて原理・法則の成り立ちや意味を理解し、日常で起こる事象を数学的に問題解決できる能力を養う。
(2)観察実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
(3)各論分野に関しては問題演習を通じて物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活と社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・原則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している	物質とその変化に主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。学習内容の順は生徒の意見を参考に変更することがあります。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間まで	物質の変化	電池と電気分解 溶液の性質 化学反応と熱・光 化学反応の速さとしくみ 化学平衡	a: 問題演習を通じて電池電気分解の原理、化学エネルギーとエンタルピーについて理解する。反応の速さの表し方・化学平衡の原理について理解する。 b: 問題演習を通じて電池電気分解・溶液の量的関係について考察する。ヘスの法則を用いて反応経路の違いによるエンタルピーについて考察する。化学平衡の原理を用いて物質の工業的製法について考察する。弱酸弱塩基の遊離と平衡移動との関係を考察する。 c: 日常生活や社会との関連を図りながら、物質について考察できる。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験
後期期末まで	有機化合物・高分子化合物	有機化合物の特徴と炭化水素 アルコールと関連化合物 芳香族化合物 天然有機化合物 合成高分子化合物	a: 問題演習を通じて有機化合物に関心を持ち、その構造上の特徴や官能基の特性について理解している。 b: 問題演習を通じて有機化合物の特徴、反応性を理解し分離法・構造決定・用途を考察できる。 c: 日常生活や社会との関連を図りながら、物質について考察できる。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度